

「東御市宿泊交流拠点施設整備基本構想（素案）」
に係るまちづくり審議会委員意見・回答

No.	委員	ご意見	回答
1	宮原委員	〈建設について〉 ①交付金採択において、脱炭素型宿泊施設とすることや災害対策も整った施設であることを訴えたらよいと考える。 ②宿泊施設は大量の水やエネルギーを消費するため、照明器具や空調などの設備を省エネ度が高いものを設置するといった設計がなされるよう、最先端の知識や技術を持った施工業者の選定が必要と考える。 ③建設予定地内にある自然エネルギー（水力や地中熱など）で消費エネルギーの大多数を賄うといった先進地の事例があるため、その取組を進めるにあたって必要な調査を行うとよいと考える。	今後、具体的に施設整備を推進する際の参考とさせていただきます。
2	宮原委員	〈自然環境を守る宿泊施設の運営について〉 自然に配慮したエネルギーの利用や廃棄物の処理を検討してほしい。 （例）・歯ブラシなどプラスチック類は生分解性のものを採用する。 ・生ごみリサイクルなど細かい分別を行い、リサイクルルートに乗せる。	今後、具体的に施設整備を推進する際の参考とさせていただきます。
3	宮原委員	〈観光や周辺施設への移動手段について〉 脱炭素を意識した電気自動車やレンタサイクルなどが活用されるよう、交通網の整備を推進することが重要と考える。	今後、具体的に施設整備を推進する際の参考とさせていただきます。
4	宮原委員	コンセプトに脱炭素（デコ活）※を加えたらどうか。 ※デコ活…脱炭素につながる新しい豊かな暮らしをつくる国民運動。 また、ウェルネスに関係して健康面を支えるためには環境整備は必須であると考えため、「生ごみ処理施設」や「バイオマス発電所」などの見学ツアーをあわせて企画したらどうか。	コンセプトにつきましては、前年度実施した民間資金等活力調査に基づき、設定したものであり、追加等は現在考えておりません。 なお、見学ツアーなどにつきましては、今後、具体的に施設整備を推進する際の参考とさせていただきます。
5	大谷委員	既存の地域資源を結びつけるような拠点としてほしい。	本施設につきましては、市内の魅力ある観光資源を結ぶとともに、来訪者と地域の人の交流のハブ機能をもたせることを想定しております。御意見のとおり、市内にある観光資源を活かした体験、周遊メニューの提供も合わせて実施できるよう検討してまいります。
6	尾山委員	建設予定地について傾斜地であるため、地盤の問題はないか。 また、山林を背にしているので、防火対策を厳重にした方がよいと考える。	施設の安全性等につきましては、法令等に従い、十分な調査や対策を講じてまいります